

新合理化委員会・経営研修会合同中国市場視察報告

日 程： 2009年11月22日(日)～25日(水)

参加者： 新合理化委員会3名、経営研修会7名 同行専門家2名 計12名

1. 義烏市・自動車部品/用品市場

義烏市内の一角にある自動車部品/用品マーケット。あらゆる品物を扱う店が並んでいました。規模は小さい店が数百軒程度だと思います。品質的な問題がありそうなものや、パテントに問題のありそうなものまでなんでもありそうでした。小売しない店も何店かあります。



2. 義烏国際貿易城

義烏市一の巨大マーケット。数キロにわたって建物が繋がっており、またそこから枝分かれ的に建物が延び、また4～5フロアあるのですべてを見ることは出来ません。

基本的に小売をしない店がほとんどで、お客もアラブ人が多い。品質的に問題があるものも多いらしく、同じ商品を継続的に購入するより、一発勝負で大量に仕入れていくスタイルの様子。そういう意味で、あまり日本人向きではないようです。



一番目立つのはリモコンのヘリコプターで、実演販売をしています。大きいものから小さいものまで、安いものは80元(=約1,000円強)というものがありました。

3. 義烏の地元の工場(玩具工場、装飾品工場)

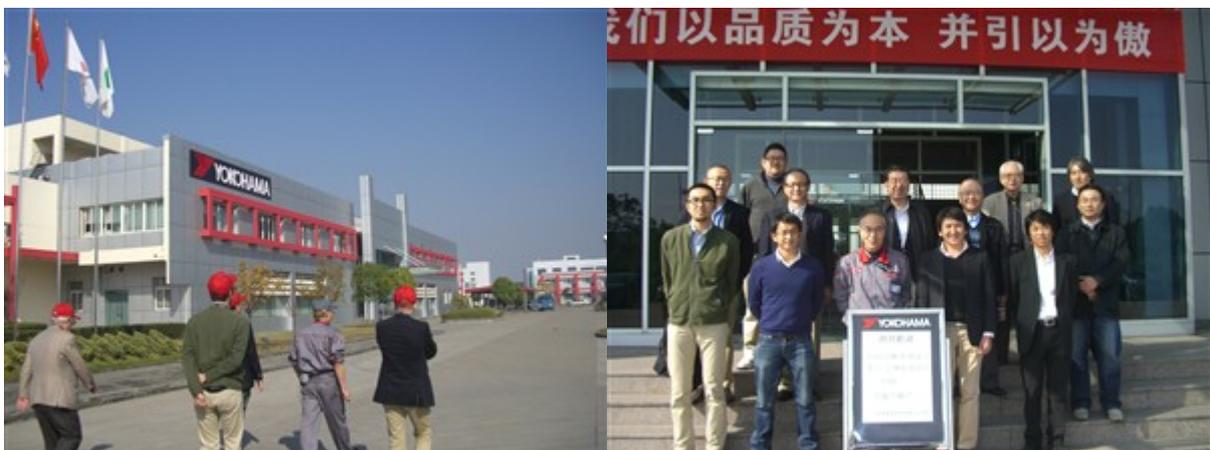
玩具(ぬいぐるみ)工場と装飾品工場を見学。ぬいぐるみを作業台の上に山のように積みながら作業する風景は壮観です。装飾品工場も非常に細かい作業で、1mm 程度の石を一つ一つ接着していく様子は気の遠くなるような作業でした。メッキによる廃水処理施設を設けており、環境対策の遅れている地元
の工場としては進んでいる印象を受けました。

中国人はどのように中国人作業者を管理するかという話を聞くことができ、非常に有意義でした。



4. 横浜ゴム杭州工場

建て屋・設備ともに日本と比べても遜色の無い、大きくて立派な工場でした。ここから広州などの自動車メーカーへも納めているとのこと。日系タイヤメーカーのタイヤは市場では1~2割高いとのことでした。



5. オートバックス広州石祥店

中国のアフターマーケット事情、オートバックス様の中国マーケット戦略、また日本企業特有のやり難さなどの現場の声、また中国の未発達な中古車市場の話や、厳格すぎる車検制度(まったく手を加えてはいけない)など、なかなか知りえなかった貴重な話をお聞きすることができました。

現在の中国国内店舗はすべてフランチャイズ店で、上海に近い将来直営店を開店する予定とのことでした。



6. 新奇特

中国系の経営する店舗も覗いてみました。キャラクター製品の品揃えなど、パテント関連にはまだまだあまり無配慮な印象を受けました。



以上